

「臨時情報」が発表されたら…

南国市はどすするの？

「臨時情報」が発表された場合、南国市は、以下の避難情報を発令します。

避難指示

津波浸水想定区域・土砂災害警戒区域
耐震性のない住居に居住する住民

避難準備・高齢者等避難開始

上記以外の住民

市民はどすするの？

「臨時情報」は、発災の可能性が高まった時にあらかじめの避難を呼びかけるものです。予め「親類宅へ避難する」など家庭のルールを決めておきましょう。



避難所の確認！



備蓄品の準備！



家具の固定！
(補助事業あり)



地元で訓練に参加！

皆で南海トラフ地震に備えよう！！



※本特集は、令和元年6月現在の情報です。対応方針や基準については、今後見直される場合があります。

緊急地震速報の訓練を行います！

6月18日(火)午前10時頃に、防災行政無線を使った緊急地震速報訓練を行います。市内62ヶ所に設置してある防災行政無線から一斉に放送されます。可能な範囲で身を守る行動を取るなどの訓練をしてみましょう！

■問い合わせ 危機管理課 ☎880-6575

居安思危

やす あり あや おも
- 安きに居て危うきを思う -



防災特集



「南海トラフ地震臨時情報」について

「南海トラフ地震臨時情報」とは、南海トラフ地震につながる恐れのある異常現象が発生した場合などに、気象庁が発表する情報のことです。下記のような異常現象が起これば、南海トラフ地震が起こる可能性が「相対的に高まる」場合があり、気象庁が「臨時情報」を発表します。

「臨時情報」が発表された場合どうするか。家庭や職場でも話し合ってみてください。

主な異常現象3ケース

これらの異常現象が起きると、気象庁は「南海トラフ地震臨時情報」を発表し、大規模地震発生の可能性について調査することになります。

半割れ (大規模地震 M8.0 以上)

〈評価基準〉
南海トラフの想定震源域内のプレート境界においてM8.0以上の地震が発生した場合

南海トラフ東側で大規模地震(M8クラス)が発生

西側は連動するの？

一部割れ (前震可能性地震 M7.0 以上 8.0 未満)

南海トラフで地震(M7クラス)が発生

南海トラフの大規模地震の前震か？

ゆっくりすべり

ひずみの変化
ひずみ計による(変化を)観測
跳ね上がり(地震発生)
強くくっついて
いる境界
ゆっくりすべり
プレートのひずみ
プレートのひずみ

国の臨時情報発表時における対応方針 (内閣府 HP より)

| | プレート境界のM8以上の地震 | M7以上の地震 | ゆっくりすべり |
|------------------------------------|--|--|---|
| 発生直後 「ゆっくりすべりケース」は検討が必要と認められた場合 | | ●個々の状況に応じて避難等の防災対応を準備・開始 | ●個々の状況に応じて防災対応を準備・開始 |
| (最短) 2時間程度 | 巨大地震警戒対応 ●日頃からの地震への備えを再確認する等 ●地震発生後の避難では間に合わない可能性のある要配慮者は避難、それ以外の者は、避難の準備を備え、個々の状況等に応じて自主的に避難 | 巨大地震注意対応 ●日頃からの地震への備えを再確認する等 (必要に応じて避難を自主的に実施) | 巨大地震注意対応 ●日頃からの地震への備えを再確認する等 |
| 1週間 | ●地震発生後の避難で明らかに避難が完了できない地域の住民は避難 | | |
| 2週間 | 巨大地震注意対応 ●日頃からの地震への備えを再確認する等 (必要に応じて避難を自主的に実施) | ●大規模地震発生の可能性がなくなったわけではないことに留意しつつ、地震の発生に注意しながら通常の生活を行う | |
| すべりが収まったと評価されるまで | ●大規模地震発生の可能性がなくなったわけではないことに留意しつつ、地震の発生に注意しながら通常の生活を行う | | ●大規模地震発生の可能性がなくなったわけではないことに留意しつつ、地震の発生に注意しながら通常の生活を行う |
| 大規模地震発生まで | | | |

国の方針では、最長2週間の避難対応を行うことになってくるのね！

